

事務事業評価シート 令和 1 年度事後評価・決算

令和 3 年 2 月 22 日時点

事務事業名		74600	認知症施策の推進事業	予算科目	会計	款	項	目	担当班	高齢者班
施策体系	基本施策	26	地域包括ケアシステムの構築	根拠法令	介護	5	3	1	事業種別	☒ 主な事業（重点施策） 直4
	施策の展開	50	地域包括ケアシステムの体制づくり	戦略事業	232	認知症施策推進事業				☐ 国土強靱化地域計画
	施策の展開			戦略事業						☐ 新市建設計画
										☒ 定住自立圏構想
										☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 19 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる街づくりを目指す。 ・認知症を介護しているまたは介護を経験した人達の集まりである認知症家族交流会の実施。 ・認知症講演会の実施。 ・関係機関との調整等を行う認知症コーディネーターの養成。 ・認知症の早期診断・早期対応に向けた認知症初期集中支援チームの配置。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
認知症施策の推進については、従来は介護予防普及啓発事業の一環として行っていたが、平成27年度の介護保険法の改正に伴って認知症施策推進事業が地域支援事業に位置づけられた。認知症初期集中支援チームの設置等の実施期限は平成30年4月までとなっている。	高齢化の進展に伴い、認知症高齢者のさらなる増加が見込まれることから、認知症に対する普及啓発、見守り支援の推進と、認知症初期集中支援チームの設置が必要となる。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
家族交流会ではアンケートを実施。家族会に参加して気持ちになった、また参加したい等の意見あり。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(1年度の決算)		単位:千円
1.報償金	88	認知症初期集中支援チーム検討委員報償金等
2.普通旅費		旅費
3.消耗品費	28	事務用品
4.職員研修負担金等	49	参加費等
② 特定財源の内訳(1年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金	64	地域支援事業交付金
2.都道府県支出金	32	地域支援事業交付金
3.地方債		
4.その他	32	地域支援事業繰入金

事業費	費目内訳	単位	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(予算)
事業費	1. 報償金	千円	25	165	165	88	555
	2. 普通旅費	千円	50	59	10		
	3. 消耗品費	千円		22	14	28	30
	4. 職員研修負担金等	千円	8	10	254	49	59
	事業費計 (A)	千円	83	256	443	165	644
財源	1. 国庫支出金	千円	32	100	170	64	248
	2. 都道府県支出金	千円	16	50	85	32	124
	3. 地方債	千円					
	4. その他	千円	16	50	85	32	124
	5. 一般財源	千円	19	56	103	37	148

前年度増減理由 H30年度「認知症ケアパス」の作成(192千円)があったため及び初期集中支援チーム員会議の減少による減

従事職員数 常時 人 最大 人 × 日 = 延べ 人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

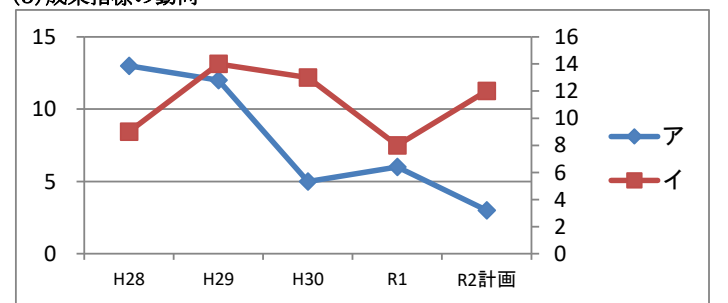
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	1年度実績(1年度に行った主な活動)							
目的	・家族交流会、認知症初期集中支援チーム検討委員会、チーム員会議、認知症コーディネーター連絡会の開催 ・認知症ケアパスを活用した相談対応	ア 認知症相談対応件数	件	508	695	737	1,191	700
		イ						
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(計画)
	対象 意図 対象 意図							
目的	認知症高齢者や家族、関係者 認知症支援関係者の連携体制が確保されることにより、早期支援が受けられる。 支援関係者 支援を要する高齢者や家族を支えるため、支援関係者の連携・連絡体制が充実することができる。	ア 認知症支援に係る医療・介護連携数(市が介入した認知症オレンジ連携シートによる連携件数)	件	13	12	5	6	3
		イ 認知症関連の会議開催・出席回数	件	9	14	13	8	12

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある ある程度 ほとんどない	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
大きい				
普通	⑤			
小さい				

評価結果	成果優先度	コスト比率		
	① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
評価結果	④⑤	(4)		
	⑥			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	比較
成果指標イ	成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値減＝成果向上	成果動向
【コメント】 (低下の場合、その理由)	・認知症疾患医療センターの設置完了し、医療連携協議会の開催が減少、また、災害、感染症等により中止となった会議があるため。				
③ 今年度取組事項 (2年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性		
R2年度から	市民に対して認知症講演会を通じて、認知症施策の周知を図る。チーム員会議の振り返りを行い、効果的な活用方法を検討する。	拡大 縮小	現状維持 廃止・休止 その他()	支援を要する高齢者や家族が相談しやすい体制を目指す。	